

別表4 実技検査課題等【一般入学（共通選抜）・第2次募集共通】
 （普通科スポーツ科学コース、音楽科、美術科及びメディア芸術科）

〔1〕 中央高等学校普通科スポーツ科学コース〈特色選抜の実技検査課題等とは異なる〉		
ア 検査内容（共通課題） 全員共通種目で下記の種目を課する。 (7) 30メートル走 (イ) ハンドボール投げ (ウ) 立ち幅跳び (エ) 反復横跳び	イ 携行品 (7) 受検票 (イ) 筆記用具 (ウ) 運動のできる服装 (エ) 屋内用運動靴 (オ) 第2次募集のみ昼食を持参する。	
〔2〕 水戸第三高等学校音楽科		
ア 検査内容 (7) 聴音記譜（全受検者） 簡単な旋律を聴いて、五線譜に書き取る。 (イ) コールユーブンゲン（全受検者） No. 18、19、23、24、25（大阪開成館版）より、当日指定の1曲を楽譜を見ながら階名唱で歌う。 (ウ) 専攻別課題（全受検者） 専攻したい部門別に課題を行う。（下記ウ 専攻別課題参照） (エ) ピアノ課題（作曲の専攻部門を希望する者のみ） 各自の用意した任意のピアノ曲（ソナタ以上）をピアノで演奏する。（楽譜を見てもよい。）	イ 携行品 (7) 受検票 (イ) 筆記用具 (ウ) 演奏用楽譜 (エ) 専攻の楽器（ピアノ、コントラバス、ハープ及びマリリンバを除く。ただし、弓、マレット類は持参すること。） (オ) 昼食及び上履き	
ウ 専攻別課題		
専攻部門	楽 器	課 題 曲 及 び 課 題
声 楽		(1) コンコーネ 50 番より 「3 番」、「4 番」及び「5 番」の中から 1 曲を選択し、暗譜で歌う。（母音アで歌う。） (2) 次の A 又は B のいずれかを選択し、暗譜で歌う。（調については指定しない。） A：成田為三作曲「浜辺の歌」の「1 番」及び「2 番」 B：イタリア歌曲（原語）の中から任意の 1 曲
ピ ア ノ	ピアノ	(1) ハノン第 39 番のシャープ、フラットそれぞれ 2 個までの長調と短調の音階を、暗譜で演奏する。なお、調は当日指定する。 (2) ハイドン、モーツァルト又はベートーヴェンの任意のピアノ・ソナタの第 1 楽章か最終楽章を暗譜で演奏する。（ただし、緩徐楽章を除く。）

〔3〕 取手松陽高等学校音楽科

<p>ア 検査内容</p> <p>(ア) 聴音記譜 (全受検者) 簡単な旋律を聴いて、五線譜に書き取る。</p> <p>(イ) 新曲視唱 (全受検者) 当日指定する簡単な旋律を楽譜を見て歌う。</p> <p>(ウ) 専攻別課題 (全受検者) 専攻したい部門別に課題を行う。</p>	<p>イ 携行品</p> <p>(ア) 受検票</p> <p>(イ) 筆記用具</p> <p>(ウ) 演奏用楽譜</p> <p>(エ) 専攻の楽器 (ピアノ、コントラバス、ハープ及びマリ ンバを除く。ただし、弓、マレット類は持参するこ と。)</p> <p>(オ) 上履き</p> <p>(カ) 第2次募集のみ昼食を持参する。</p>
---	--

ウ 専攻別課題

専攻部門	楽 器	課 題 曲 及 び 課 題
声 楽		コンコーネ 50番より任意の1曲を、母音アで歌唱する。(暗譜)
ピ ア ノ	ピアノ	(1) ハノン第39番のシャープ、フラットそれぞれ2個までの同一調号による長調と短調について、暗譜で演奏する。なお、調は当日指定する。弾き方は繰り返しを省略し、短調については、和声短音階を1回弾いた後、続けて旋律短音階を1回弾き、終止形をつけて終わりにする。 (2) モーツァルトまたはベートーヴェンの任意のピアノ・ソナタの第1楽章か最終楽章を暗譜で演奏すること。(ただし、モーツァルトソナタK. V. 545、ベートーヴェンソナタOp. 49の全楽章とOp. 27-2の第1楽章を除く。)
弦 ・ 管 ・ 打 楽 器	ヴァイオリン	(1) カール・フレッシュ スケール・システムより「5番」の基本形のみ。(任意の調性) ポーイングはC durと同様に。 (2) A又はBを選択する。 A: モーツァルト協奏曲の中から任意の曲の第1楽章 B: 任意の楽曲 (多楽章形式の場合は1つの楽章を選択する。)
	ヴィオラ	(1) ト長調 (G dur) の音階を2オクターブ (2) 任意の楽曲 (多楽章形式の場合は1つの楽章を選択する。) ※ ヴァイオリンで受検する場合 (1) ニ長調 (D dur) の音階を2オクターブ (2) 任意の楽曲 (多楽章形式の場合は1つの楽章を選択する。)
	チェロ	(1) ト長調 (G dur) の音階を2オクターブ (2) A又はBを選択する。 A: ドッツアウアー又はリー程度の練習曲集より任意の1曲 B: 任意の楽曲 (多楽章形式の場合は1つの楽章を選択する。)
	コントラバス	(1) 変ロ長調 (B dur) の音階を2オクターブ (2) 任意の楽曲 (多楽章形式の場合は1つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。)
	ハープ	任意の楽曲 (多楽章形式の場合は1つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。) ※ アイリッシュハープで受検してもよい
	フルート	(1) シャープ・フラット2つまでの長音階を2オクターブ。調は当日指定する。 (2) ケーラー「35の練習曲」第1巻より任意の1曲を選択する。
	オーボエ	(1) ニ長調 (D dur) 及びロ短調 (h moll) の音階を2オクターブ。ただし、短調は和声短音階とする。 (2) ヒンケ「基礎教則本」より「9番」(p.9)、「14番」(p.11)及び「17番」(p.12)の中から1曲を選択する。
	クラリネット	(1) シャープ、フラット2つまでの長音階を2オクターブ。調は当日指定する。 (2) ローゼ「32の練習曲」より「1番」から「10番」の中から任意の1曲を選択する。
	ファゴット	(1) ヘ長調 (F dur) 又はニ長調 (D dur) の音階を2オクターブ。調は当日指定する。 (2) ワイセンボーン「50の練習曲」第2巻より「2番」及び「3番」の中から1曲を選択する。
	サクソフォン	(1) ト長調 (G dur) 及びホ短調 (e moll) の音階を2オクターブ。ただし、短調は和声短音階とする (2) ラクール「50の練習曲」第2巻より「26番」または「33番」の中から任意の1曲を選択する。

専攻部門	楽 器	課 題 曲 及 び 課 題
弦 ・ 管 ・ 打 楽 器	ホルン	(1) ヘ長調 (F dur) 及びニ短調 (d moll) の音階を1オクターブ。ただし、短調は和声短音階とする。 (2) マキシム・アルフォンス 練習曲 第1巻より「1番」、「9番」及び「14番」の中から1曲を選択する。
	トランペット	(1) 変ロ長調 (B dur) の音階を1オクターブ半 (B~F) (2) アーバン「金管教本」第2巻より「5番」 Variations on a song (The Beautiful Snow)の主題 (3) コーブラッシュ「60のエチュード」より「10番」
	トロンボーン	(1) ヘ長調 (F dur) の音階を2オクターブ (2) 任意の楽曲(多楽章形式の場合は1つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。) ※ バス・トロンボーンはチューバと同一課題
	ユーフォニアム	トロンボーンと同一課題
	チューバ	(1) ヘ長調 (F dur) の音階を2オクターブ (2) ボルドーニ「43のベル・カント・スタディー」より「1番」及び「2番」の中から1曲を選択する。
	マリンバ	(1) シャープ・フラット2つまでの長音階を2オクターブ。調は当日指定する。(上昇下降し、最終音はトレモロにする。) (2) 任意の練習曲又は独奏曲
	スネアドラム	(1) 網代景介／岡田知之「小太鼓 100 曲集」より「13番」
作曲	(1) 二声聴音(大譜表) (2) A又はBを選択する。(楽器の使用は認めない。) A: 和声(バス課題、8小節程度、属七の和音まで(根音省略形を除く。)) B: 伴奏づけ(8小節程度)与えられた旋律に、ピアノ伴奏を書く。 (3) 任意のピアノ曲(ソナチネ以上)をピアノで演奏する。(楽譜を見てもよい。)	
注意 (1) 声楽については、入学願書提出時に伴奏楽譜を提出する。高声・中声・低声のいずれの楽譜を使用してもよい。 (2) 声楽以外は、伴奏を付けないで演奏する。 (3) 繰り返しは行わない。 (4) 音階は暗譜で演奏すること。 (5) 楽譜について、特に版の指定のないものについては自由とする。		

〔4〕 笠間高等学校美術科

ア 検査内容 水彩絵の具による写生をする。	イ 携行品 (ア) 受検票 (イ) 鉛筆(2~3本[HB~5Bのいずれか])、消しゴム又は練り消し (ウ) 水彩用具一式(絵の具は透明・不透明絵の具及びアクリル絵の具とする。ポスターカラーは不可とする。) ※画用紙及び画板は、笠間高等学校で用意する。 (エ) 上履き (オ) 第2次募集のみ昼食を持参する。
---------------------------------	--

〔5〕 笠間高等学校メディア芸術科

ア 検査内容 鉛筆による写生をする。	イ 携行品 (ア) 受検票 (イ) 鉛筆(3~4本[2H~4Bのいずれか])、消しゴム又は練り消し ※画用紙及び画板は、笠間高等学校で用意する。 (ウ) 上履き (エ) 第2次募集のみ昼食を持参する。
------------------------------	--

〔6〕 取手松陽高等学校美術科

ア 検査内容 水彩絵の具による静物写生をする。	イ 携行品 (ア) 受検票 (イ) 鉛筆(2~3本[HB~5Bのいずれか])、消しゴム又は練り消し (ウ) 水彩用具一式(絵の具は透明・不透明絵の具及びアクリル絵の具とする。ポスターカラーは不可とする。) ※画用紙及び画板は、取手松陽高等学校で用意する。 (エ) 上履き (オ) 第2次募集のみ昼食を持参する。
-----------------------------------	--